

# 渥美半島 大地と海の恵み 27

農政課 ☎23-3517

## 7月6日は渥美半島田原市メロンの日

皆さんは田原市の農産物と聞くと何を思い浮かべるでしょうか。キャベツやキクと答える方が多いかもしれませんが、本市は全国でも有数なメロンの産地で、産出額は県内1位を誇ります。しかし、市場価格の低迷などにより生産者が少なくなり、出荷量も減少しています。

このような状況を打破するため、平成28年には全国のメロン産地で、毎月「6日」をメロンの日と制定しました。なぜ「6日」なのかというと、6という数字がメロンの弦と玉の形に似ていることと、収穫後おおむね6日後がメロンの食べ頃であるということ、消費者の皆さんに覚えてもらうためです。

本市は7月6日を「渥美半島田原市メロンの日」と制定して、消費者の皆さんにメロンのPRを行っています。本市では7月ごろアールスメロンをはじめ、タカミやイエローキングなどの露地メロンが揃います。



## 田原市のメロンをご紹介します

### ◆アールスメロン（マスクメロン）

温室内で1株から1個だけを残り、手塩にかけて育てられる高級メロンです。外観は網目模様が美しく、上品な香りと甘味の強さが特徴で果物の王様とも呼ばれます。網目がクッキリと細かく均等に広がり、網1本1本の盛り上がりが高いものがおいしいといわれています。



▲マスクメロン

### ◆露地メロン

網目があるタカミは果肉がやや固めで、網目は高さがなく細かいのが特徴です。網目のない鮮やかな黄色果皮のイエローキングは、果肉が白色で厚みがあります。露地メロンはガン予防や老化防止に役立つといわれるβカロチンが多く含まれており、糖度が高いことも特徴です。



▲イエローキング

これから夏にかけて旬を迎え、6〜9月ごろにはメロン狩りを楽しむことができます。観光客からも人気があります。本市では今後も「メロンと言えば渥美半島・田原市」と広く認識していただくために、メロンの消費と販路拡大をサポートしていきます。

今月の花

6月の

## 渥美半島の花と鉢花

アルストロメリア  
(花／出荷時期:1年中)

花



花ことば

未来への憧れ・持続

抜群の花持ちの良さで、贈り物に最適です。鮮やかな色合いが特徴で、本市では約70品種ほど生産しています。

ハイビスカス

(鉢花／出荷時期:4月～6月)

鉢



花ことば

常に新しい美

常春の渥美半島を代表する初夏の鉢花です。枝先には新しいつぼみが次々と付き、情熱的な花が咲きます。